

## 「白保アオサンゴ・トラスト」への看板の設置について

この度、日本ナショナル・トラスト協会は、白保地区に所有している「白保アオサンゴ・トラスト」内に、所有地であることを示す看板を設置しました。

### ■トラスト地の概要

所在地：沖縄県石垣市字白保竿原

取得方法：贈与

面積：30,180㎡

地目：保安林

取得日：2015年5月7日



石垣島の東側に位置する白保地区には、世界最大級のアオサンゴ群集が見られる美しい海が広がっています。2015年に当協会は、この海のそばにある3haほどの土地を寄付したいとの申し出を受け入れ、「白保アオサンゴ・トラスト」と名付けて所有しています。

サンゴ礁は水質の変化にとっても敏感で、赤土や生活排水の流出が生息に悪影響を与えます。雨が降ったとき、地下水を濾過する土壌や自然の植物は、大量の赤土などが海に流れこむことを防ぐクッションの役割を果たしています。この土地を守ることは、白保の海を守ることであり、地域の経済の振興にも大きく貢献します。

近年、この土地の周辺でも「売地」の看板が増え、リゾートホテル等の開発を進める動きも出てきたことから、この土地に看板を設置し、当協会のトラスト地であることを明示するとともに、白保のアオサンゴの海を陸地とのつながりで考えることの重要性を広くアピールしていきたいと考えました。

今後も当協会は、地元の白保地区の方々とも連携しながら、さらなるトラスト地の確保も視野に入れ、世界でも貴重なアオサンゴの海を守る方策を検討していく予定です。

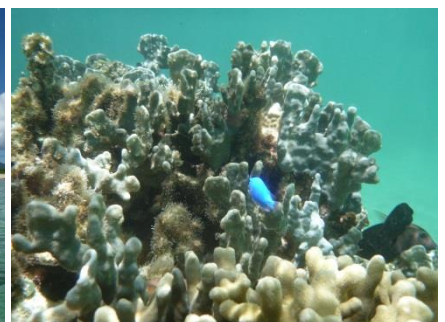
この度の看板設置と白保の海の保全をめぐる状況について、貴媒体でご紹介いただけますようお願い申し上げます。



トラスト地に設置した看板



アオサンゴの海から  
トラスト地周辺を望む



アオサンゴ

